

若い女性に増えている「乳がん」と「子宮がん」を
見過ごさないために

がんには、見つけやすいタイミングがある

普段の生活で初期のがんでは症状がほとんどないため初期のがんが見逃されやすく、がん細胞が増殖し始めても、自覚症状はほとんどありません。自覚症状がでるのは、がん細胞が増え体に害を与え始めてからがほとんどです。

乳がんは40代から罹患率が増えます。検診を受けることで触れるだけではわからない段階のがんや、しこりとしてあらわれないがんも見えてきます。近年、乳がんは早期発見・早期治療で90%以上の人が助かることが分かっています。

子宮がんは25歳から罹患率が増加しており、低年齢化が進んでいます。子宮がんもがん細胞が増殖し始めても、自覚症状はほとんどありません。子宮がん検診では、がんになる前の「前がん病変」や初期のがんなど、自覚症状がない段階も見つけることができます。

定期検診を受けることは、あなたの体と未来の生活を守るにつながります。

下川町のがん検診の受診状況

乳がん・子宮がん検診ともに全国に比べると下川町の受診率は高いのですが、目標の受診率には達していません(表1)。健診を受けて精密検査となった方は、全員医療機関で受診されています(表2)。

乳がん検診について

マンモグラフィ(乳房のレントゲン写真)をとり、40歳からは2年に1回受けましょう。乳がんを早期に見つけるためには、乳がん検診を受けることに加え、毎月1回自分で乳房を見て触る「自己検診」も大切です。

子宮がん検診について

子宮がん検診は、子宮の入り口(頸部)の細胞を検査します。閉経後で不正出血のある場合には、体部(内臓)の細胞を検査します。20歳からは2年に1回受けましょう。また、女性に増えている病気をみつけるために、子宮や卵巣の状態をみる超音波検査は、子宮がん検診とあわせてお申し込みいただければ同時に受けることができます。超音波検査ではがん以外にも子宮筋腫や卵巣のう腫などを見つけることができます。

検診日程(集団検診)

検診日	検診会場	乳がん検診 (40歳以上)	子宮がん検診 (20歳以上)
9月9日(月)	総合福祉センター「ハピネス」	●	●
11月26日(火)	旭川がん検診センター(バスツアー)	●	●

*バスツアーは、朝8時に旭川がん検診センターのバスで下川を出発し、午後1時~2時頃に下川に戻ります。

検診料金

検診内容		対象者	一般	国保	後期高齢者 医療被保険者
乳がん検診	一方向	50歳以上	1,700円	900円	600円
	二方向	40~49歳	2,000円	1,000円	
子宮がん検診	頸部	20歳以上	1,800円	900円	600円
	体部	閉経後、不正出血等のある人	800円	400円	300円
子宮・卵巣の超音波検査		20歳以上	どなたも1,100円		

がんには、見つけやすいタイミングがあります
定期的に検診を受けることで、発見、治療がしやすくなります

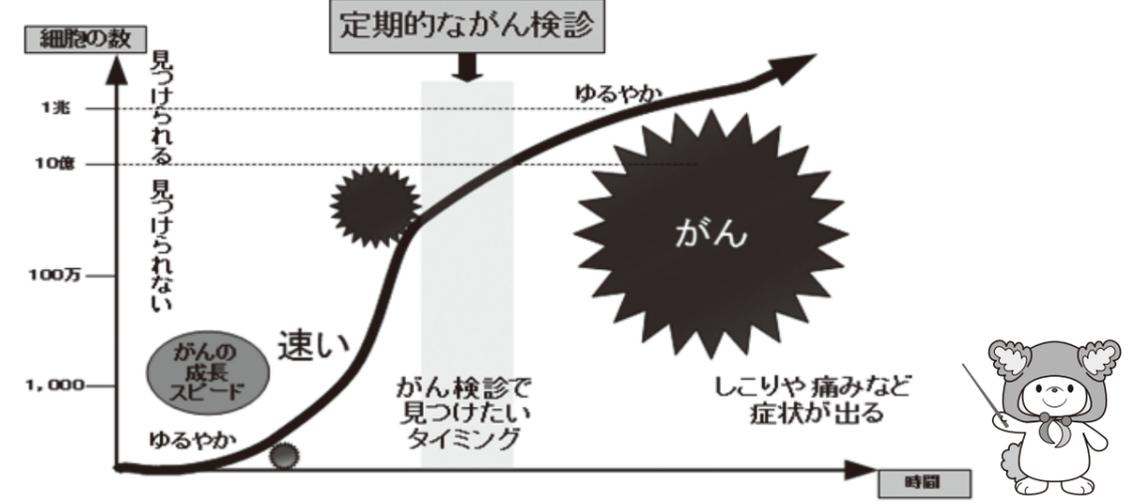


表1 がん検診受診率の推移(子宮がんは20~69歳まで、乳がんは40~69歳まで) (単位%)

年度	下川町 受診率							下川町 目標値	全国受診率 R3	全国 目標値
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4			
子宮がん	26.8	27.2	24.7	22	22.3	22.8	22.5	26.5	15.4	50
乳がん	39.7	35.5	35.1	36.4	35.4	37.7	36.1	37.5	15.4	50

表2 がん検診精密検査受診率

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
乳がん	精検受診率	100	100	100	100	100	100
	がん発見者	0	0	2	1	0	0
子宮がん	精検受診率	対象なし	100	100	100	100	100
	がん発見者	0	0	0	0	0	0

個別検診申込み
旭川がん検診センター
予約専用フリーダイヤル
0120-972-489

■集団検診申込み・お問い合わせ
保健福祉課 保健係
総合福祉センター「ハピネス」
☎ 4-3356

お得な無料の機会にぜひご利用ください

今年度該当する方にがん検診無料の案内文を郵送しています。検診の申込みをして、検診当日にご持参ください(紛失した場合は、再発行しますのでご連絡ください)。

女性スタッフ対応の日もある
〜日曜検診あります

旭川がん検診センターで、日曜日に
行われる検診は、年6回(9/29、10/20、11/24、12/22、2/9、3/23)あります。どの日も乳がん・子宮がん検診は女性医師・技師が担当します。乳がん・子宮がんはもちろん、胃・肺・大腸がん検診や特定健診なども1日ですべて受診することが可能です。10/20は「レディースデー」で、すべての健診や特定健診において受診者・医師・技師も全員女性の検診日となっています。

